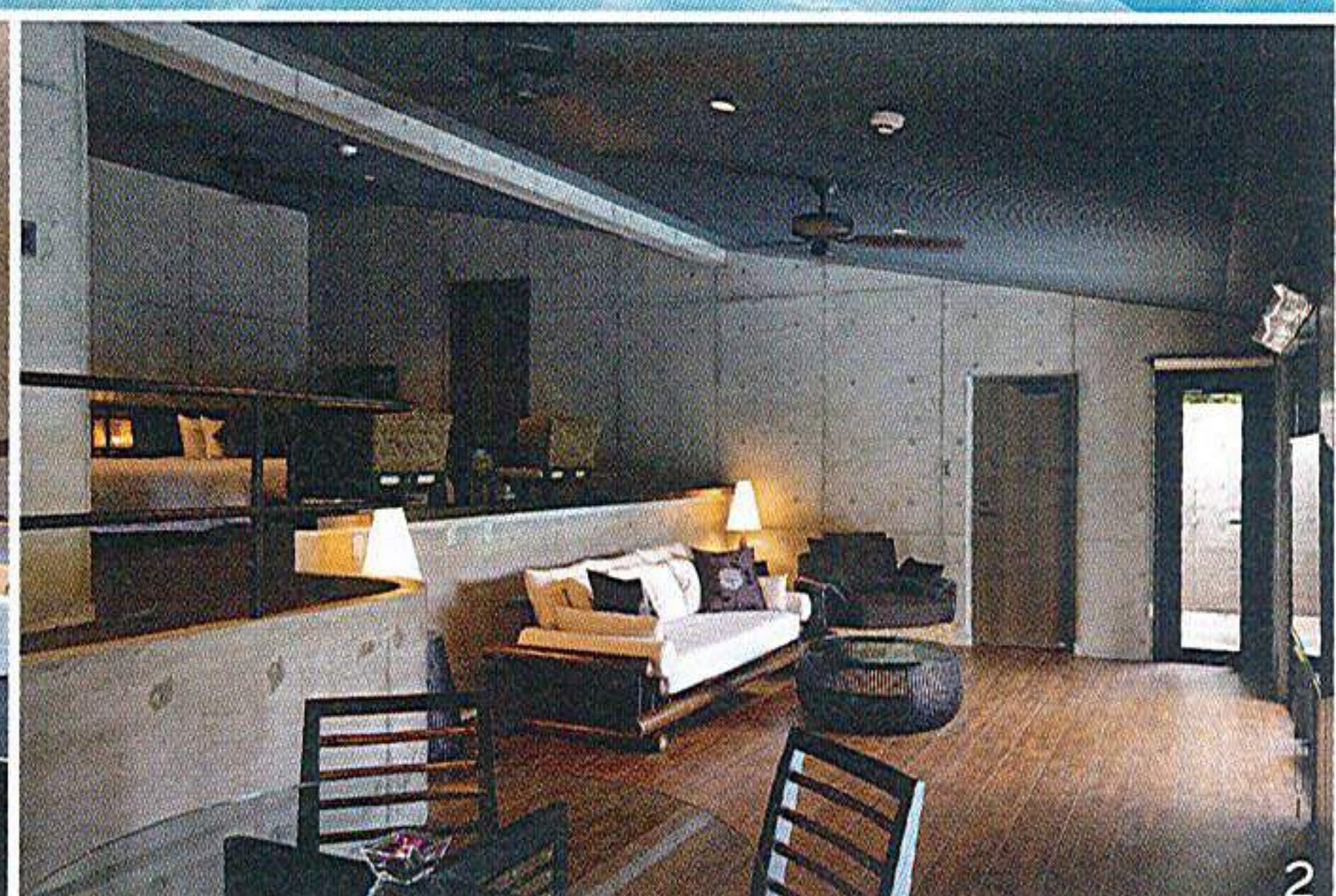
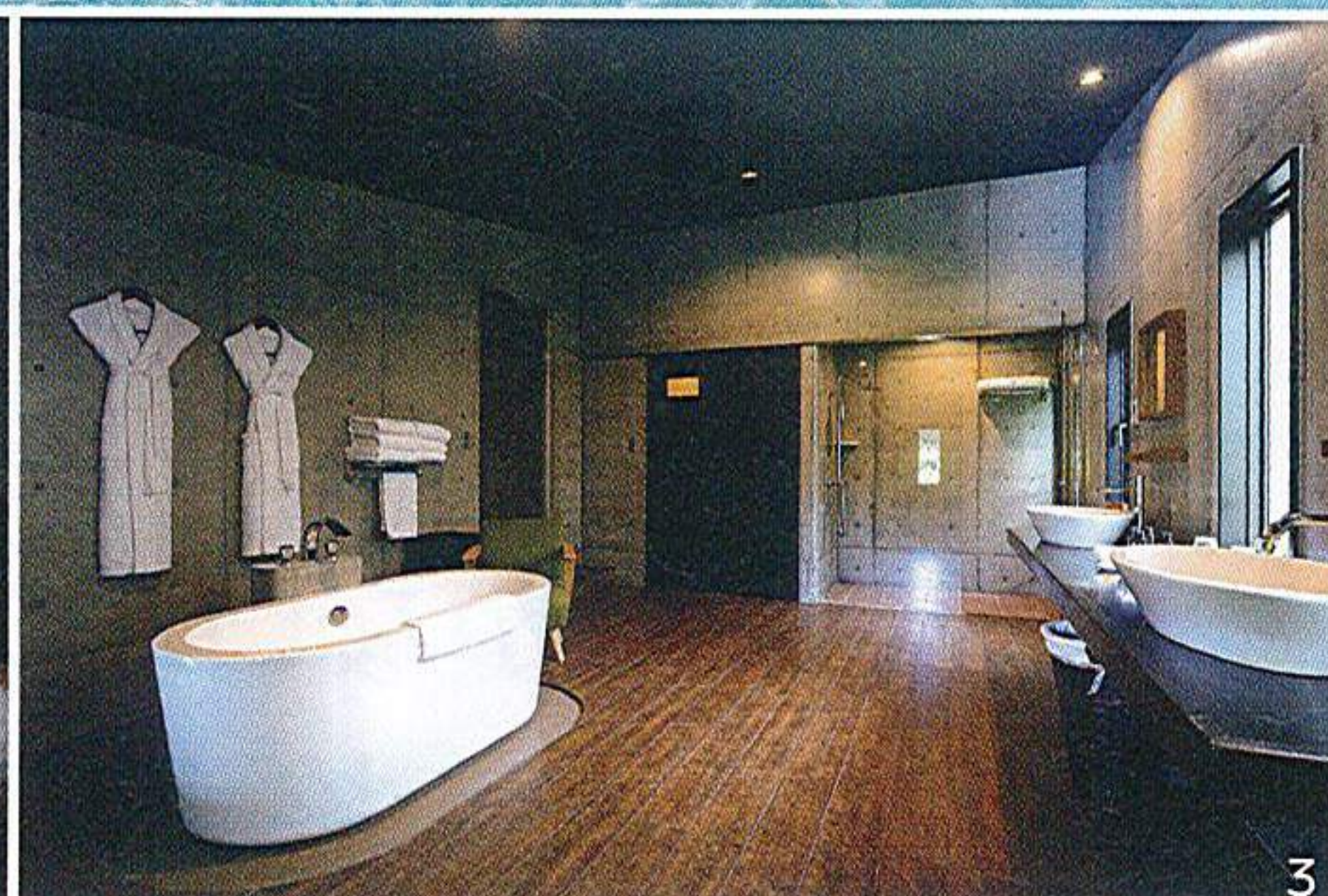
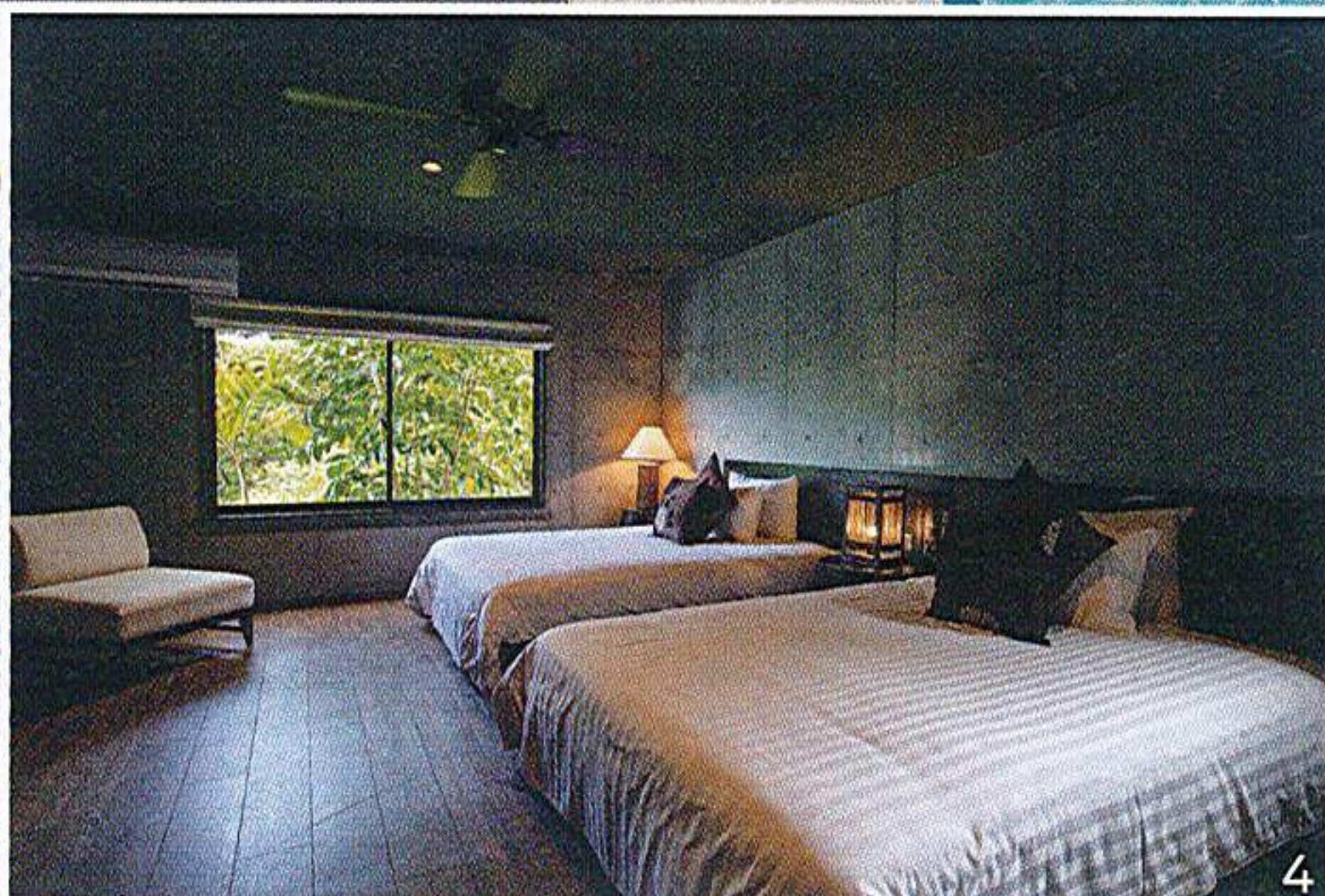


沖縄ラバーが注目する「本島北部の隠れ家ヴィラ」

沖縄を愛してやまないハードリピーターたちが、離島の次として注目しているのが沖縄本島の北部エリア。
大規模な開発の手が及ばない“やんばるの森”の中には、ラグジュアリーなヴィラが隠れています。



＜ 沖縄本島 ＞

MAGACHABARU OKINAWA

マガチャバル オキナワ

やんばるの森でまだ見ぬ沖縄に出会う 自然と寄り添う極上リトリート

2015年
オープン

2ベッドルームヴィラ「A4」より。1 プライベートプール。2 下部がリビング、上部がベッドルームに分けられた母屋の居室。3 広いバスルーム。4 離れにある二つ目の寝室。5 スタイリッシュな客室番号の表示。

Data

沖縄県国頭郡今帰仁村字今泊2498

tel.0980-56-1301

<http://www.magachabaru.com/>

※A4号室「2ベッドルームヴィラ」(1棟)
専有面積500㎡(室内面積175㎡) 定員8名
(宿泊料金) ¥64,000～(2名1室利用時の
1名1泊、朝食付き)

那覇から車で2時間半、東京ドーム4個半もの広大な亜熱帯林の奥深く、わずか11棟のプール付きヴィラからなる究極の隠れ家リゾートが誕生しました。森の生態系への影響に配慮し、10年もの歳月を費やして造り上げたホテルには、沖縄の自然を愛してやまないオーナーのこだわりが詰まっています。豊かな自然をより身近に感じられるようにと、ホテルはあえて装飾を省いた無機質なデザインに。色彩を抑えた室内と広い窓から差し込む鮮やかな緑のコントラストが、陰影に満ちた美空間を演出しています。バリのウブドになぞらえる顧客の声にもうなずける、神秘ささえ覚える森のリゾートです。ここは、鳥のさえずりや虫の声、雨や風の音など森の息吹に耳を傾け、体内時計を自然のリズムに巻き戻す、大切なひとときを過ごす場所。リゾート滞在を終える頃には心も身もリセットされ、すっかりリフレッシュした自分に驚き、真のぜいたくの意味を実感できるでしょう。